

肢体不自由校の施設設備 に関すること

23. 2. 3

飯野 順子

医療的ケアの必要な児童生徒のために 1

室温25度・湿度60%の確保

第1章 総則 第3 2 健康に配慮した施設(5ページ)(1)幼児
児童生徒の健康に配慮し、(中略) **室温等→室温、湿度(の管
理)等に十分配慮した計画とすることが望ましい。(一部追加)**

66ページ **室温等→室温・湿度**

設置型が良い

医療的ケアの必要な児童生徒のために 2 災害時の備えとして、電源の確保

- ◆電動吸引器、人工呼吸器のために、電源の確保が必要である。
 - ◆東京都の場合、自家発電装置を設置し、電源の取入れ口は、校長室・事務室・保健室・体育館・トイレに有る。しかし、ケアのためには、電力不足である。
- 第8章 第7 防災設備 104ページ **文言追加**
医療的ケアの必要な児童生徒の電動吸引器・(人工呼吸器)等の電源の確保を考慮する。

太陽光発電は、対応できるのか。

都立小平特別支援学校には、 エコスクール仕様であるが...



医療的ケアの必要な児童生徒のために 3
 看護師の執務室(執務コーナー)の確保
 第1章 総則 3 施設機能の設定 (11)教職員施設の機能の
 設定 12ページ ②看護師等の執務場所等の設置に留意す
 る。(文言追加) 参照 28ページ 又は職員室 67ページ



地震等で物が落ちてくる危険性大の教室で勉強している。棚の上
 上に物を積み過ぎ、落下防止もない。生活の場としての施設
 (4) (5ページ) 第2 学習関係諸室 (5)45ページ



体温調節の必要な児童生徒のために、
 寝具(ふとん・電気毛布)等を収納する大型家具(棚)が必要

【廊下の整理の工夫】
 車いす置き場の指定・座位保持いすの収納棚



【収納の必要な物の例】

ダウンジャケットはハンガーで..
 ヘルメットは、廊下にあるが...



まぶしさへの配慮(和紙を貼るなどの工夫をしている)
 第8章 設備設計 第2 照明設備

肢体不自由児の中には、まぶしさによって学習に集中できない場合があるので、まぶしさのない照明を工夫する必要がある。追加 97ページ



見えにくい児童生徒のために
 分かりやすい表示(光や色)(どこ・なに・だれ)



八王子東特別支援学校の例



都立八王子東特別支援学校の例



自己導尿対応トイレ 手洗い部・導尿洗浄部



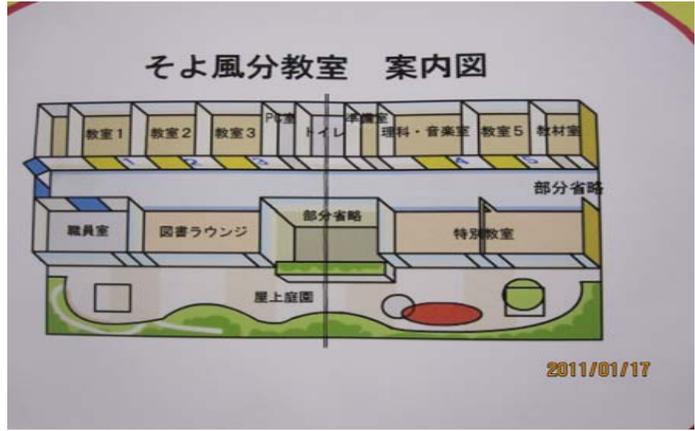
教室の手洗い部は、奥まで車いすが入るように設計・サイドガイドのあるベッド



トイレ(左右対称・幅広の可動式テーブルガイドを設置・前にもバーを設置)



都立光明特別支援学校そよかぜ分教室
国立成育医療センター(平14)



都立久留米特別支援学校府中分教室
都立小児総合医療センター内 (平22)

わかば教室 ひだまり教室



都立北特別支援学校
東大病院こだま分教室



屋上庭園(四季の変化を感じる環境)



明るい色づかい(原色・パステルカラー)



外に開かれた環境(職員室・大きな窓)

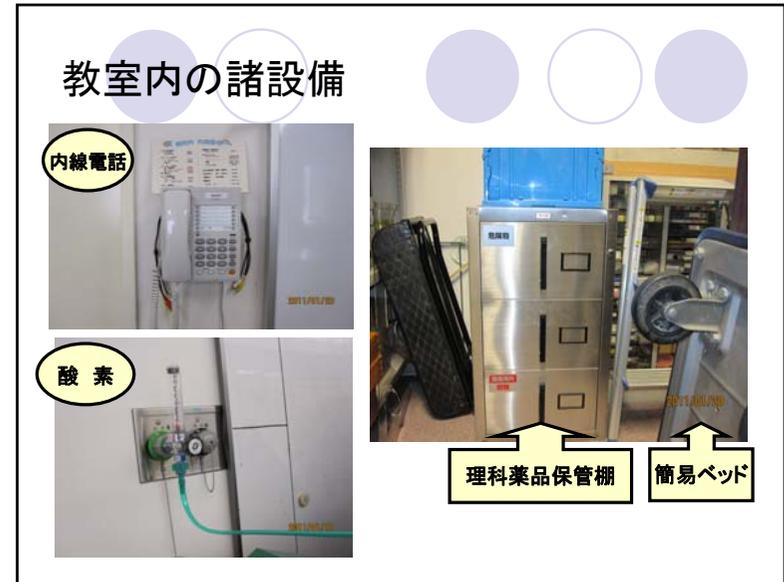


栽培活動の場所の確保 生命を育み、育てる活動・四季を感じること



教室





1 教室環境に関すること

- (1) 音楽室 防音装置をつけている。
 - 空間が狭いため、他の教室や病室への影響を考慮している。生徒が放課後に音楽室を利用し、趣味として音楽活動を行っている。
 - プライバシーの確保のために、相談活動にも活用している。
 - (第3章 第2 4 特別教室 (7) 27ページ この部分に【病弱に配慮した施設】として入れた方が良い。或いは、音楽関係教室 47ページ)
- (2) 図書室・図書コーナー 必ず、設け必要がある。
 - 入院児にとって、読書は楽しみ。そのための環境は、重要である。
- (3) 理科の学習
 - 理科の実験に対する期待は大きい。薬品の管理が課題となっている。
- (4) 多目的教室 多目的な使用のために、必要である。(第3章 第2 3 多目的室 26ページ)
 - 教室は、間仕切りして使用し、行事(音楽会・文化祭)や儀式(入学式・卒業式等)の際に活用している。
- (5) 栽培活動のための畑・花壇・栽培コーナーの確保
 - (第3章 第1 1 基本的事項 1空間構成 (7)(8) この部分に【病弱に配慮した施設】として入れた方が良い。 24ページ又は理科関係教室 46ページ)
 - ・入院児にとっては、育てる楽しみ、四季の変化や自然に触れる機会として、栽培活動は重要な学習となっている。
 - ・分教室を同じフロア(又は前面)に屋上庭園を設置している。
 - ・ベランダ部分に畑のスペースとして花壇がある。
- (6) 調理学習のための施設設備
 - ・調理台はオール電化としている。設置のために必要電力量の電源の確保が必要である。
- (7) 教室の電源
 - ・点滴のためのコンセントなど、必要数を確保できるようにする。
 - ・ICTによる教育のため、プロジェクターやスクリーンが必要である。
 - ・HUBの設置場所に苦勞をした。
- (8) 教室等の扉は、途中で止まると便利である。
- (9) 教室内にソファが置いてある。(第4章 各室計画 第2 学習関係諸室 145ページ)
- (10) 理科・家庭科・技術科等の専科教室は、共用とせざるを得ない。

2 病気の状態に応じた環境に関すること

- (1) 入学してくる児童生徒の病気が変化してきている。血液腫瘍科や腫瘍科だけではなく、こころの診療部の児童生徒になってきている。
- (2) 色づかい(原色・パステルトーン)に心を砕いている。
- (3) 友達同士のつながりのために、廊下にベンチをおいている。
- (4) 病気によっては、鍵をかける必要があるなど、病態によって環境調整を考える。

3 外部との間接的な交流の場の確保に関すること

- (1) 1階の受付場所の近くで、人通りが多い場所に作品展示場所を設け、感想などを書くアンケート用紙を置いている。年間365通程度書かれており、児童生徒が読んでいます。